学校番号	T3017

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	（学）数学演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

数学Ａの内容を中心に，前期は『場合の数と確率』，後期は『図形・整数の性質』の内容を，プリント等を用いて学習します。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
場合の数と確率，図形・整数の性質における基本的な概念，定理などを理解し，事象を数学的に表現・処理する技能が身につけるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】場合の数と確率，図形・整数の性質の規則性や性質を見出し，それを論理的に説明する力や，事象に数学的な構造を見出す力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
数学的な活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え，数学を今後の生活や学習に活かそうとする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	場合の数と確率，図形における基本的な概念，定理などを理解し，事象を数学的に表現・処理する技能が身についている。	場合の数と確率，図形の性質を見出し，それを論理的に説明する力，事象に数学的な構造を見出す力が身についている。	数学的な活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え，数学を今後の生活や学習に活かそうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	場合の数と確率	場合の数 確率	a:場合の数の基本的な性質を用いて求めることができる。 確率に関する概念を理解し,既習事項を活用して求めることができる。 b:事象の構造や確率の性質に着目し,場合の数や確率を求める方法を多面的に考察している。 c:確率に関するワークを通じて,数学的活動の楽しさや数学のよさを実感している。	授業ﾌﾟﾘﾝﾄ 定期ﾃｽﾄ	授業ﾌﾟﾘﾝﾄ 定期ﾃｽﾄ	授業ﾌﾟﾘﾝﾄ
後期	図形の性質	三角形の性質 円の性質 円と直線	a:　図形に関する定義や性質を理解し,正しく計算することができる。 b:　定義や関係性などに着目し,図形の計量について考察し,説明することができる。 c:　図形の性質を論理的に粘り強く考え説明しようとしている。	授業ﾌﾟﾘﾝﾄ 定期ﾃｽﾄ	授業ﾌﾟﾘﾝﾄ 定期ﾃｽﾄ	授業ﾌﾟﾘﾝﾄ
	整数の性質	整数の性質	a:　整数に関する定義や性質を理解,正しく計算することができる。 b:　定義や関係性に着目し,整数の性質を考察し,説明することができる。 c:記数法に関するワークを通じて,数学的活動の楽しさや数学のよさを実感している。	授業ﾌﾟﾘﾝﾄ 定期ﾃｽﾄ	授業ﾌﾟﾘﾝﾄ 定期ﾃｽﾄ	授業ﾌﾟﾘﾝﾄ

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度